

「令和5年度全国学力・学習状況調査」結果について

1 実施概要について

(1) 調査の目的

- ①義務教育の機会均等とその水準の維持向上
- ②児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に活用
- ③教育に関する継続的な検証改善サイクルの確立

(2) 調査の対象及び内容 【令和5年4月18日（火）実施】

- ①各小学校6年生及び各中学校3年生の全児童生徒が対象
- ②調査内容
 - ア. 国語、算数・数学、英語の学力調査
 - イ. 児童・生徒の学習状況等に関わる質問紙調査
 - ウ. 学校に対する質問紙調査

(3) R4調査との主な変更点

中学校英語「話すこと」調査及び児童生徒質問紙調査（一部）を一定規模でオンライン実施。

(4) 実施の状況（公立の実施学校数と児童生徒数）

①全国の状況

○小学校等

- ・国語： 18,618校 964,177名
- ・算数： 18,615校 964,350名

○中学校等

- ・国語： 9,336校 892,738名
- ・数学： 9,337校 893,114名
- ・英語： 9,335校 893,528名

②本県の状況

○小学校等 222校（小学校216校、義務教育学校前期課程3校、特別支援学校小学部3校）

- ・国語： 7,734名
- ・算数： 7,729名

○中学校等 94校（中学校89校、義務教育学校後期課程3校、特別支援学校中学部2校）

- ・国語： 7,998名
- ・数学： 7,994名
- ・英語： 8,004名

2 学力調査の結果（本県における各教科の平均正答率）

(1) 小学校6年生 ※数値は正答率%（都道府県は整数値で公表）

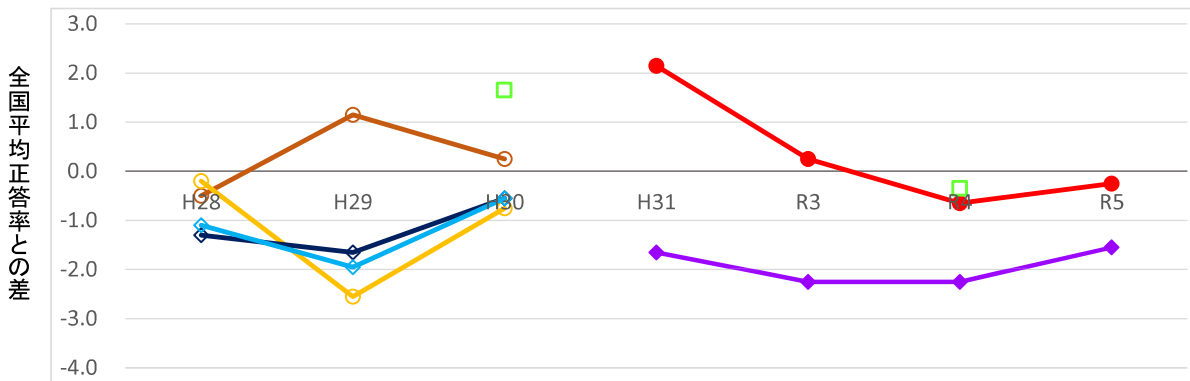
	山形県	全国
国語	67	67.2
算数	61	62.5

(2) 中学校3年生 ※数値は正答率%（都道府県は整数値で公表）

	山形県	全国
国語	70	69.8
数学	50	51.0
英語	41	45.6

全国学力学習状況調査結果

全国学力調査（小学6年）経年比較



国語
国語A
国語B
算数
算数A
算数B
理科

	H28	H29	H30	H31	R3	R4	R5
国語 ●				1.7 ~ 2.6	-0.2 ~ 0.7	-1.1 ~ -0.2	-0.7 ~ 0.2
○国語A	-0.5	0.7 ~ 1.6	-0.2 ~ 0.7				
○国語B	-0.2	-3.0 ~ -2.1	-1.2 ~ -0.3				
算数 ◆				-2.1 ~ -1.2	-2.7 ~ -1.8	-2.7 ~ -1.8	-2.0 ~ -1.1
◆算数A	-1.3	-2.1 ~ -1.2	-1.0 ~ -0.1				
◆算数B	-1.1	-2.4 ~ -1.5	-1.0 ~ -0.1				
理科 □			1.2 ~ 2.1			-0.8 ~ 0.1	

※平均正答率について、全国の値は小数第1位まで示されているのに対し、都道府県の値は平成29年度から整数値で示されていることから、平成29年度以降のグラフの値は、全国との差の範囲の中間値を表示しています。

○小学校国語

A問題(主に知識に関するもの)

年度	平均正答率	全国との差
平成 28 年度	72.4	-0.5
平成 29 年度	76	0.7 ~ 1.6
平成 30 年度	71	-0.2 ~ 0.7

B問題(主に活用に関するもの)

年度	平均正答率	全国との差
平成 28 年度	57.6	-0.2
平成 29 年度	55	-3.0 ~ -2.1
平成 30 年度	54	-1.2 ~ -0.3

※AB一本化

平成 31 年度	66	1.7 ~ 2.6
令和 3 年度	65	-0.2 ~ 0.7
令和 4 年度	65	-1.1 ~ -0.2
令和 5 年度	67	-0.7 ~ 0.2

○小学校算数

A問題(主に知識に関するもの)

年度	平均正答率	全国との差
平成 28 年度	76.3	-1.3
平成 29 年度	77	-2.1 ~ -1.2
平成 30 年度	63	-1.0 ~ -0.1

B問題(主に活用に関するもの)

年度	平均正答率	全国との差
平成 28 年度	46.1	-1.1
平成 29 年度	44	-2.4 ~ -1.5
平成 30 年度	51	-1.0 ~ -0.1

※AB一本化

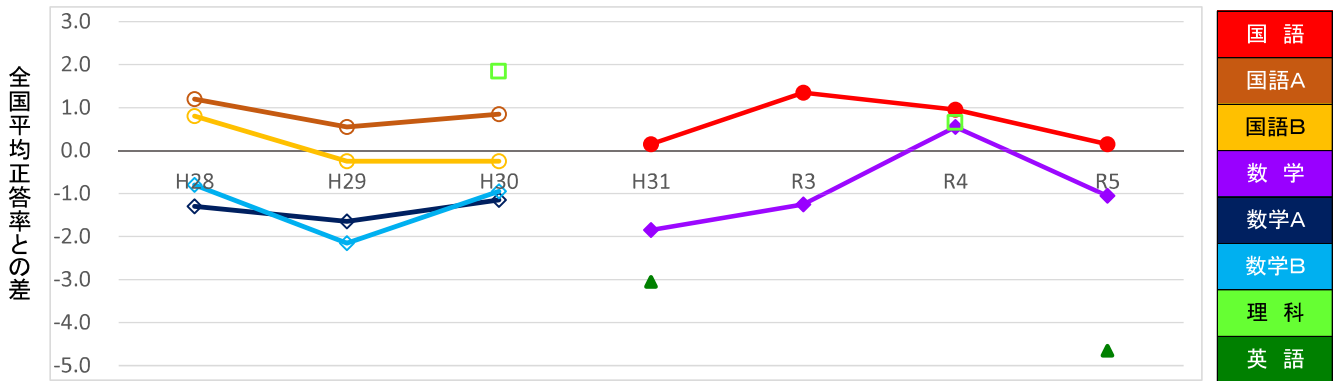
平成 31 年度	65	-2.1 ~ -1.2
令和 3 年度	68	-2.7 ~ -1.8
令和 4 年度	61	-2.7 ~ -1.8
令和 5 年度	61	-2.0 ~ -1.1

○小学校理科

年度	平均正答率	全国との差
平成 30 年度	62	1.2 ~ 2.1
令和 4 年度	63	-0.8 ~ 0.1

全国学力学習状況調査結果

全国学力調査（中学3年）経年比較



	H28	H29	H30	H31	R3	R4	R5
国語 ●				-0.3 ~ 0.6	0.9 ~ 1.8	0.5 ~ 1.4	-0.3 ~ 0.6
○国語A	1.2	0.1 ~ 1.0	0.4 ~ 1.3				
○国語B	0.8	-0.7 ~ 0.2	-0.7 ~ 0.2				
数学 ◆				-2.3 ~ -1.4	-1.7 ~ -0.8	0.1 ~ 1.0	-1.5 ~ -0.6
◇数学A	-1.3	-2.1 ~ -1.2	-1.6 ~ -0.7				
◇数学B	-0.8	-2.6 ~ -1.7	-1.4 ~ -0.5				
理科 □			1.4 ~ 2.3			0.2 ~ 1.1	
(英語) ▲				-3.5 ~ -2.6			-5.1 ~ -4.2

※平均正答率について、全国の値は小数第1位まで示されているのに対し、都道府県の値は平成29年度から整数値で示されていることから、平成29年度以降のグラフの値は、全国との差の範囲の中間値を表示しています。

○中学校国語

A問題(主に知識に関するもの)

年度	平均正答率	全国との差
平成 28 年度	76.8	1.2
平成 29 年度	78	0.1 ~ 1.0
平成 30 年度	77	0.4 ~ 1.3

B問題(主に活用に関するもの)

年度	平均正答率	全国との差
平成 28 年度	67.3	0.8
平成 29 年度	72	-0.7 ~ 0.2
平成 30 年度	61	-0.7 ~ 0.2

※AB一本化

平成 31 年度	73	-0.3 ~ 0.6
令和 3 年度	66	0.9 ~ 1.8
令和 4 年度	70	0.5 ~ 1.4
令和 5 年度	70	-0.3 ~ 0.6

○中学校数学

A問題(主に知識に関するもの)

年度	平均正答率	全国との差
平成 28 年度	60.9	-1.3
平成 29 年度	63	-2.1 ~ -1.2
平成 30 年度	65	-1.6 ~ -0.7

B問題(主に活用に関するもの)

年度	平均正答率	全国との差
平成 28 年度	43.3	-0.8
平成 29 年度	46	-2.6 ~ -1.7
平成 30 年度	46	-1.4 ~ -0.5

※AB一本化

平成 31 年度	58	-2.3 ~ -1.4
令和 3 年度	56	-1.7 ~ -0.8
令和 4 年度	52	0.1 ~ 1.0
令和 5 年度	50	-1.5 ~ -0.6

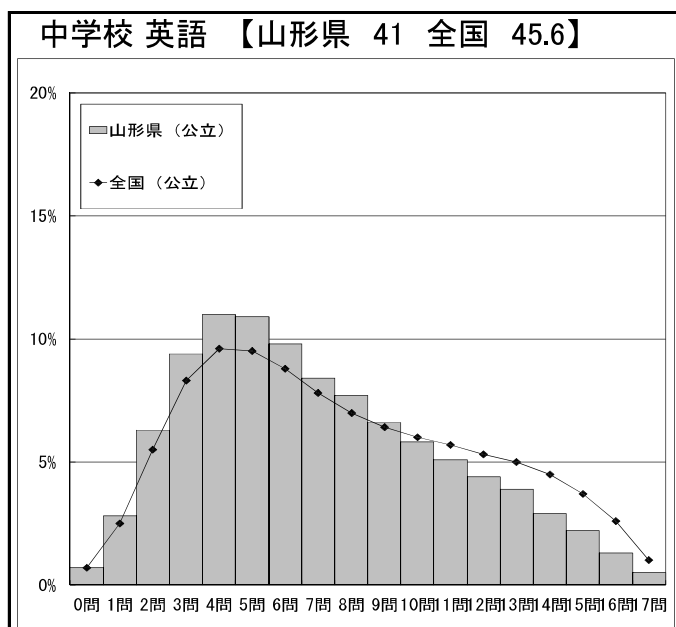
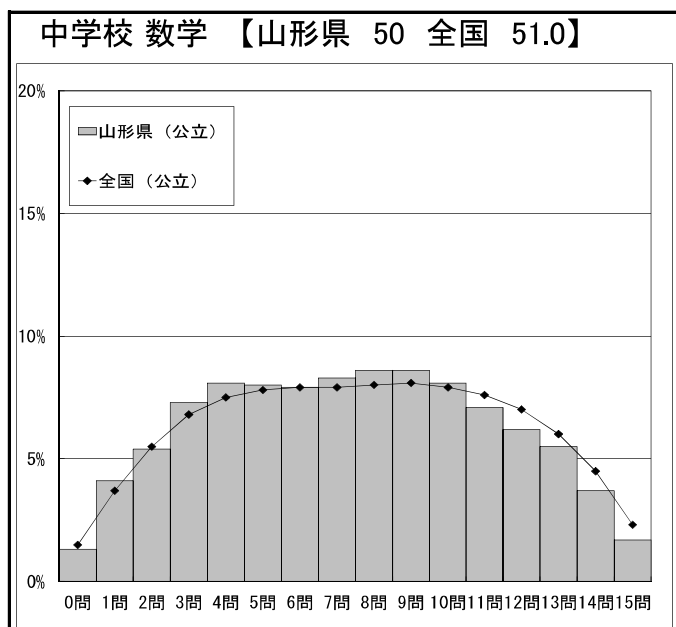
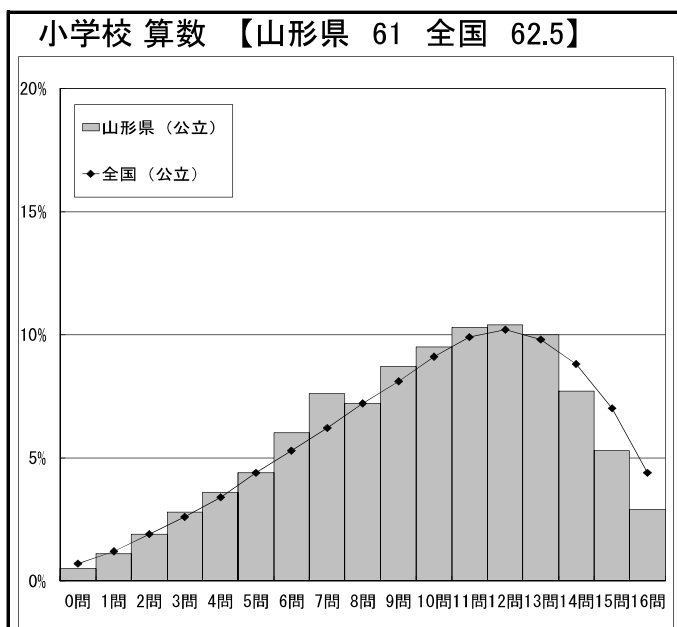
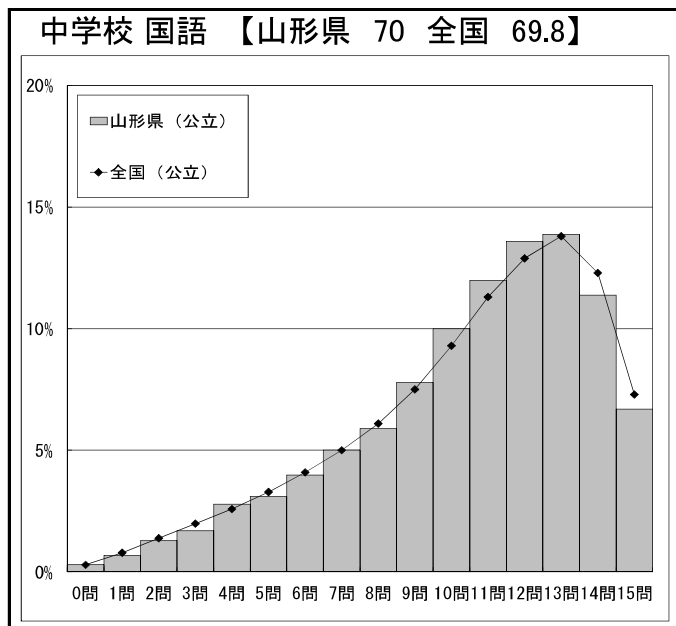
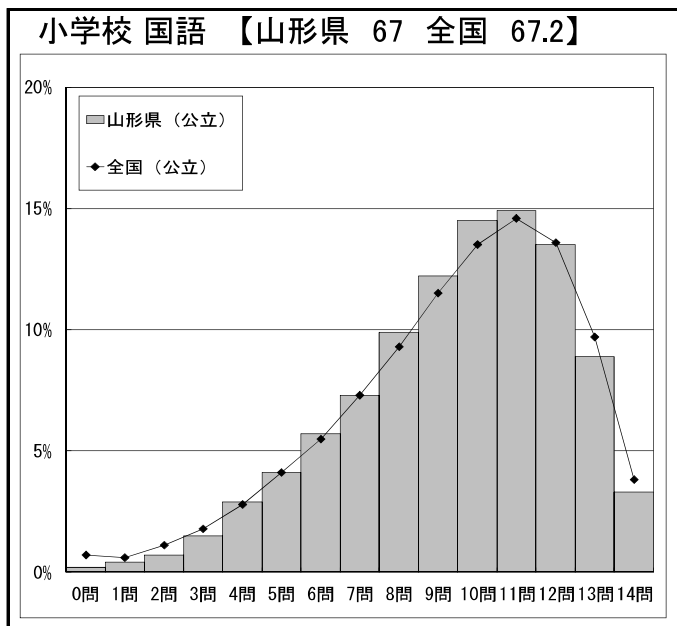
○中学校理科

年度	平均正答率	全国との差
平成 30 年度	68	1.4 ~ 2.3
令和 4 年度	50	0.2 ~ 1.1

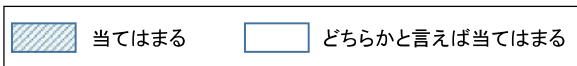
○中学校英語

年度	平均正答率	全国との差
平成 31 年度	53	-3.5 ~ -2.6
令和 5 年度	41	-5.1 ~ -4.2

1 学力調査の結果（教科の平均正答率及び正答数分布グラフ）本県と全国との比較

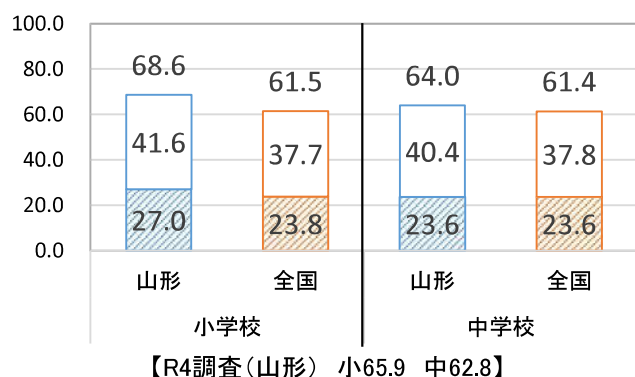


2 学習状況調査の結果から

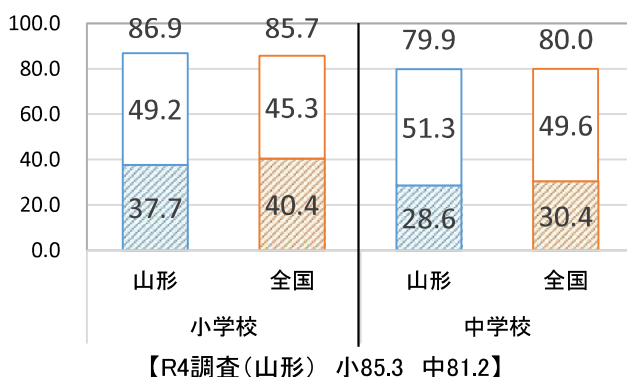


(1) 教科に関すること

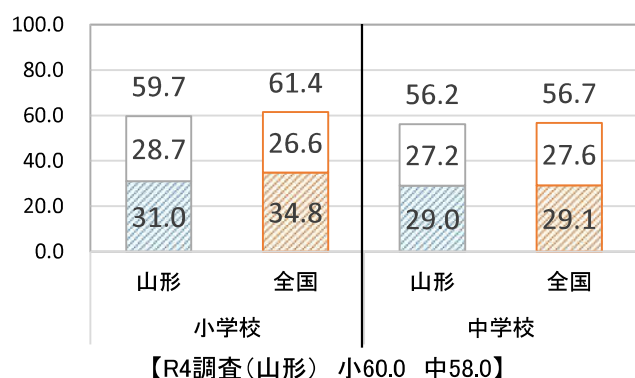
国語の勉強は好きだ



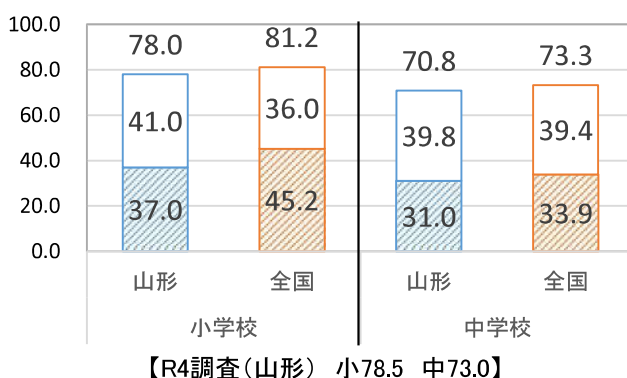
国語の授業の内容はよく分かる



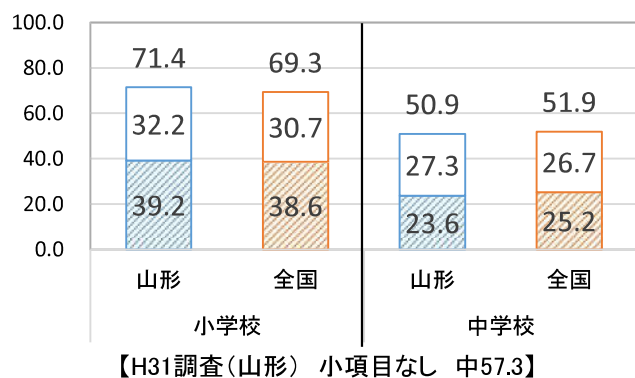
算数【数学】の勉強は好きだ



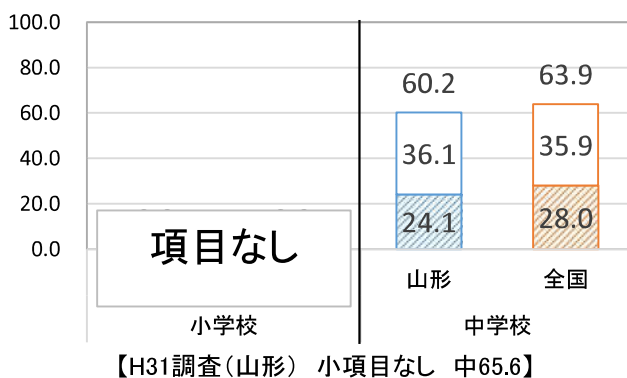
算数【数学】の授業の内容はよく分かる



英語の勉強は好きだ

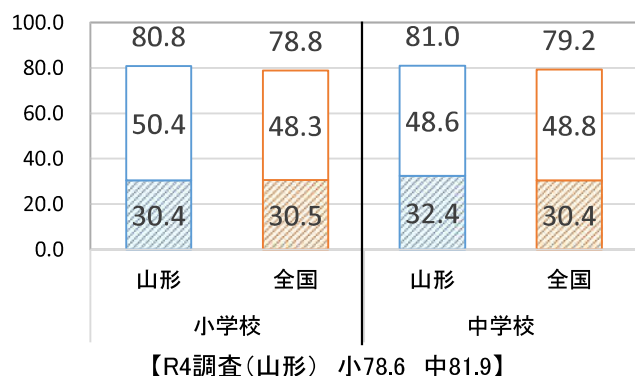


英語の授業の内容はよく分かる

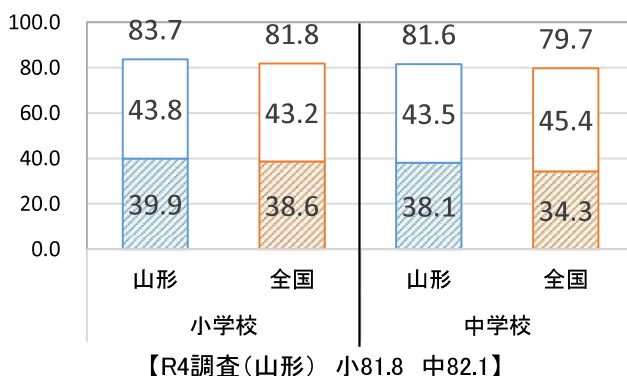


(2) 授業や学習等に関すること

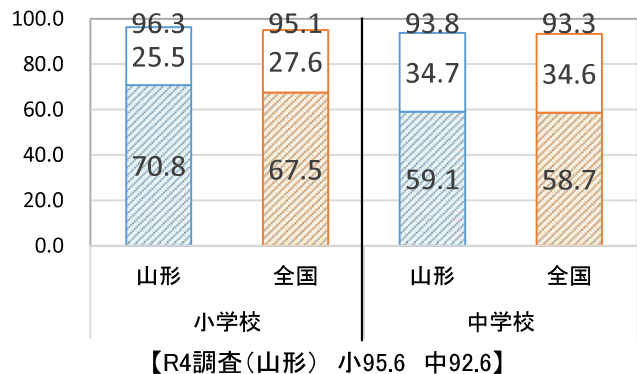
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた



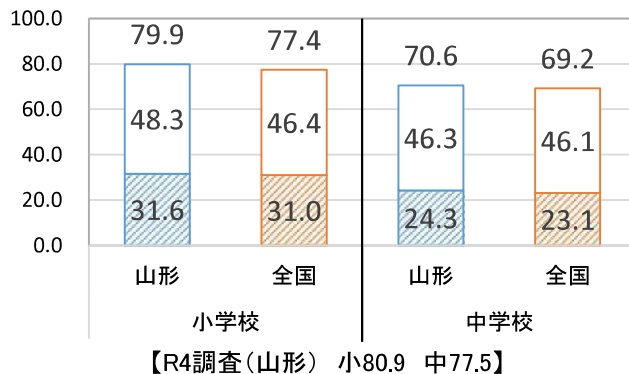
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている



学校の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つ

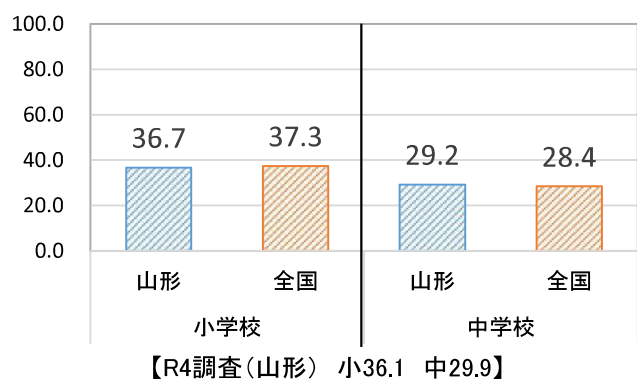


学習した内容について、分かった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができる

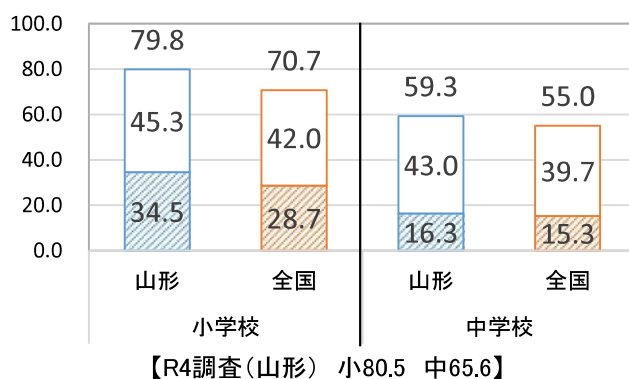


(3) 家庭生活に関わること

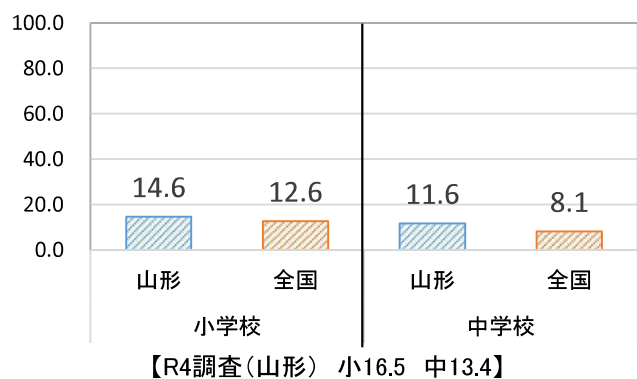
一日30分以上読書をしている



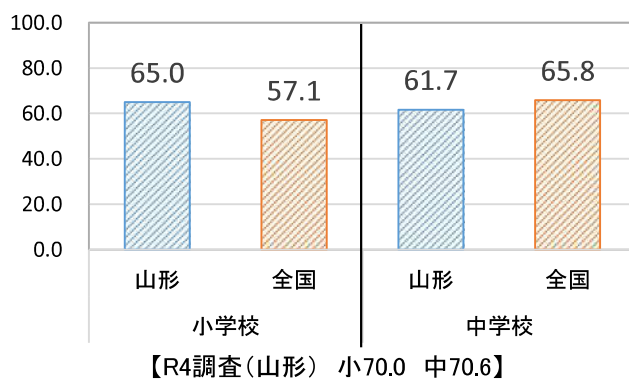
家で自分で計画を立てて勉強をしている



週1回以上新聞を読んでいる

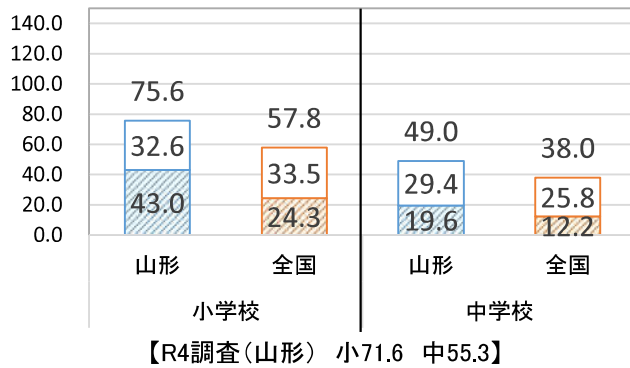


学校の授業以外に平日1時間以上勉強をしている

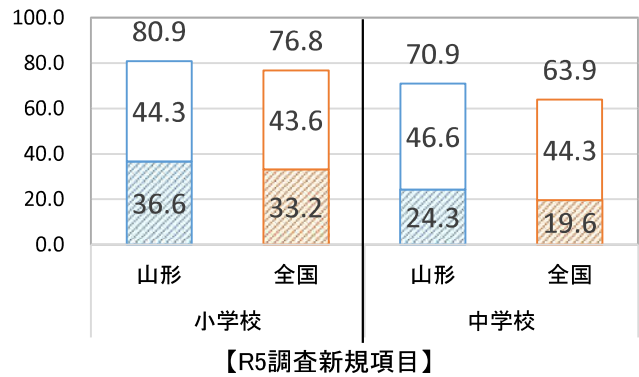


(4) 地域に関わること

地域の行事に参加している

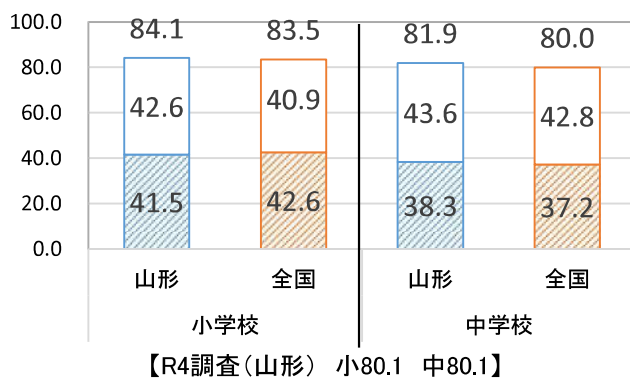


地域や社会をよくするために何かしてみたい

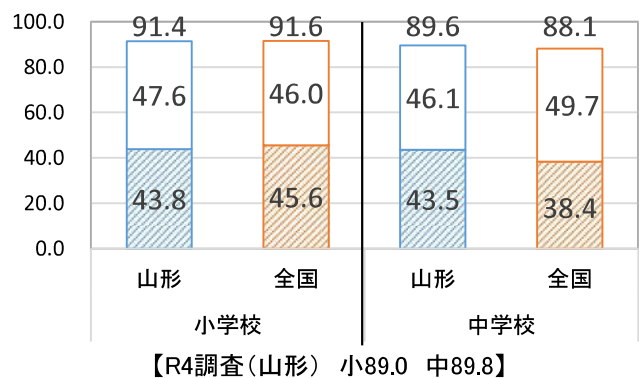


(5) 児童・生徒自身に関わること

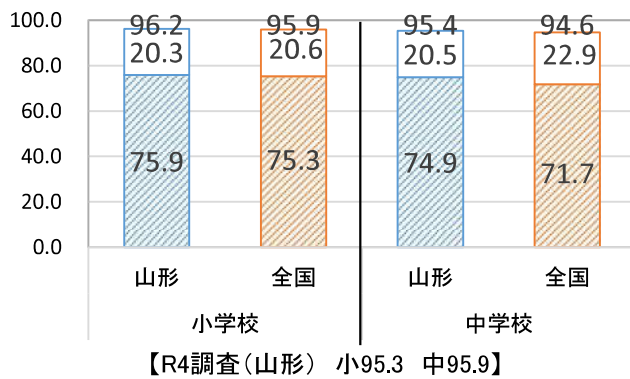
自分には、よいところがあると思う



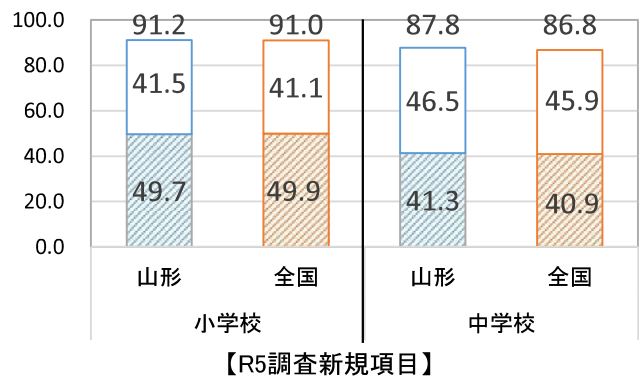
人が困ってるときは、進んで助けている



人の役に立つ人間になりたい

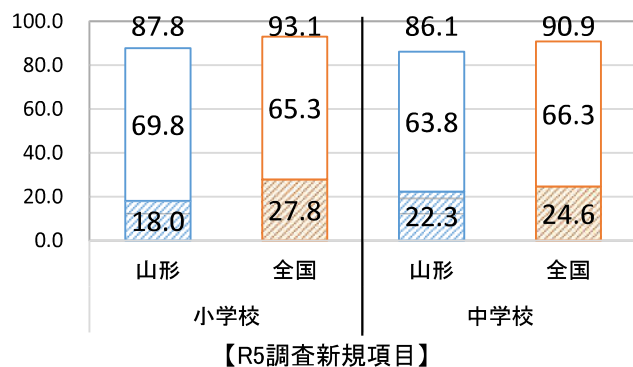


普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある

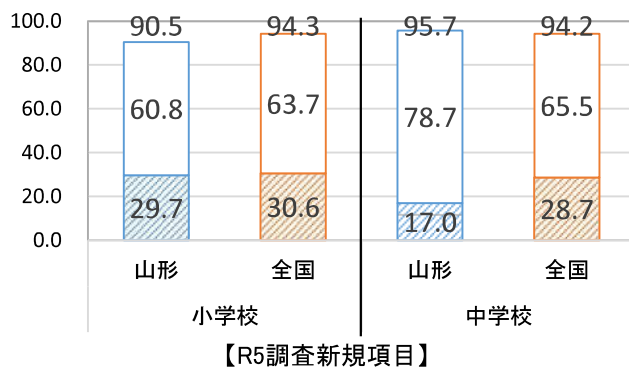


3 学校質問紙調査から

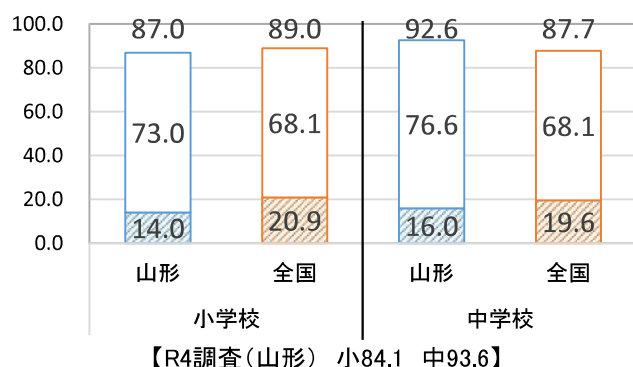
児童生徒一人一人に応じた学習課題や活動の工夫



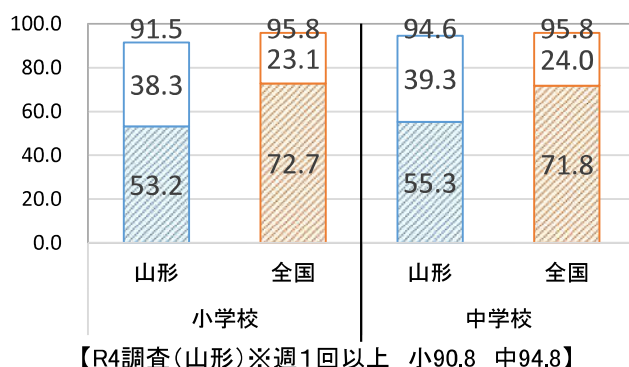
それぞれのよさを生かしながら、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるような学習課題や活動の工夫



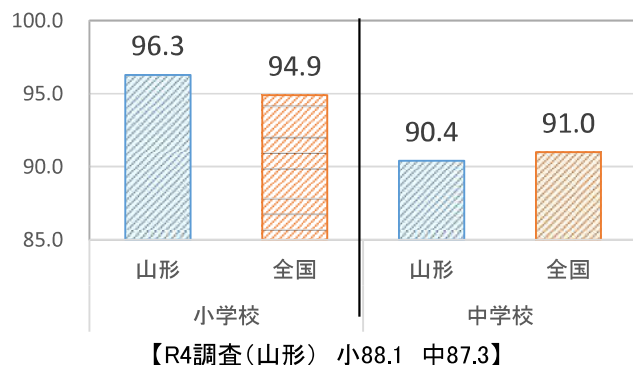
習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫



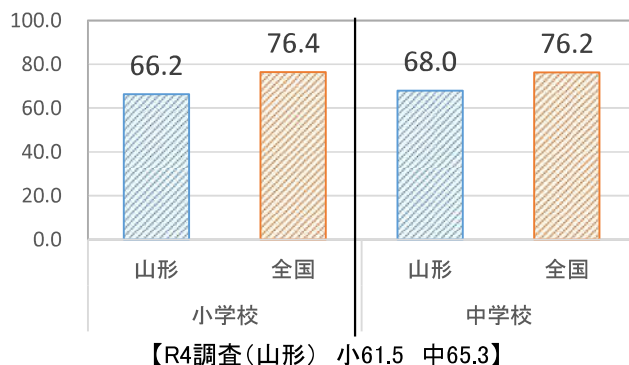
教員が大型提示装置などICT機器を活用した授業を、1クラスあたり週1回以上行った



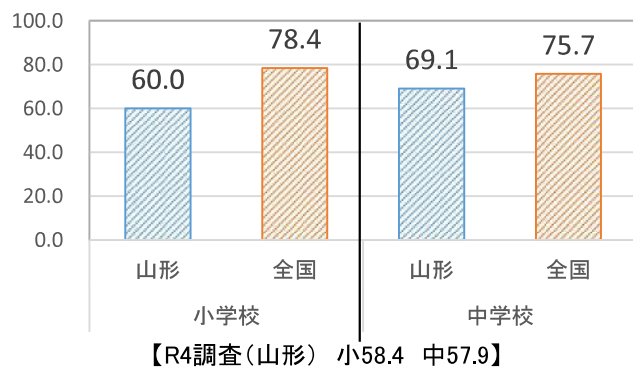
学校で、授業中に自分で調べる場面で、週1回以上PC・タブレットなどのICT機器を使っている(インターネット検索など)



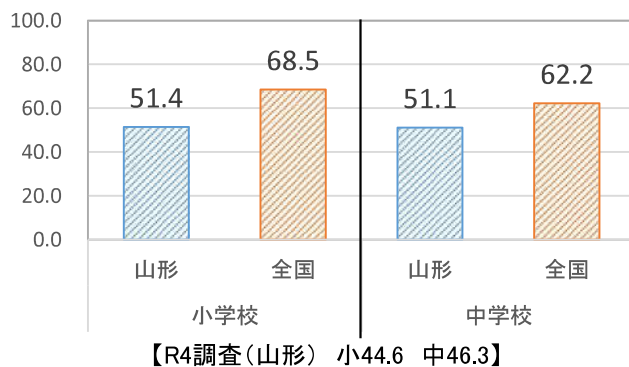
学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、週1回以上PC・タブレットなどのICT機器を使っている



先生と児童生徒がやりとりする場面で、週1回以上PC・タブレットなどのICT機器を使っている(インターネット検索など)



児童生徒同士がやりとりする場面で、週1回以上PC・タブレットなどのICT機器を使っている(インターネット検索など)



3 県教育委員会のコメント

◆学力調査について

小学校では、国語が全国平均正答率と同程度、算数は全国平均正答率を下回る結果となりました。中学校では、国語が全国平均正答率を上回り、数学と英語が全国平均を下回る結果となりました。

＜国語＞ 小学校では、資料を読んで自分の考えを書く問題で全国平均を上回りました。一方、図表やグラフなどの複数の情報を基に考えを書く問題で全国平均を下回りました。中学校では、インタビューの内容を踏まえて自分の考えを書く問題や、古典に関する問題で全国平均を上回りました。

＜算数・数学＞ 小学校では、図形の意味や性質に関する問題や二次元表を読み取る問題など、知識・技能を問う問題で全国平均を上回りました。一方、日常生活の場面を数学的に捉えて課題解決の方法を説明する問題や、三角形の底辺と高さの関係を基に面積の大小を判断する問題で全国平均を下回りました。中学校では、日常生活の場面を数学的に捉えて課題解決の方法を説明する問題で全国平均を上回りました。授業では、課題解決の過程を重視した指導を充実させていく必要があると考えます。

＜中学校英語＞ 「聞くこと」の領域では、英語を聞いて、その内容に合った絵を選択する問題で全国平均を上回りました。「書くこと」の領域では、会話の内容から現在・過去・未来等の時制を判断し、正しく英文を作る問題で全国平均を下回りました。場面や状況に応じて、適切に英語で表現できるようにする指導を充実させていく必要があると考えます。

◆学習状況調査について

多くの児童生徒が、「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答しています。授業ではICT機器をより一層活用し、教師と児童生徒、児童生徒同士のやりとりなども効果的に取り入れ、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させていく必要があると考えます。

＜児童生徒質問紙より＞ 多くの児童生徒が「自分にはよいところがある」、「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」の質問項目で肯定的な回答をした割合が高く、全国を上回っています。授業に関しては、「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」、「学習した内容について見直し、次の学習につなげることができている」の質問項目で肯定的な回答をした割合が、全国平均を上回りました。

＜学校質問紙より＞ 「児童生徒一人一人に応じた学習課題や活動の工夫」についての質問項目では、小中学校ともに全国よりやや低い結果となりました。「協力し合える学習課題や活動の工夫」については、中学校で全国平均を上回りました。ICT機器の活用については、授業中に調べる場面、考えを発表する場面、やりとりをする場面での活用が全国平均を下回りましたが、昨年度の数值よりも高い結果となりました。

県教育委員会としましては、調査結果の詳細な分析・評価により課題を明確にし、「習得・活用・探究」のバランスのとれた授業実践による児童生徒の確かな学力の育成を目指し、授業改善のPDCAサイクルの確立を図り、県全体の学力向上を推進してまいります。